

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	34	—	事業名	地域社会体育事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	款	9	教育費
		施策の進め方	1	スポーツ活動の推進	項	5	保健体育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1	保健体育費
		政策分類	—		大事業	6	地域社会体育事業
	その他(関係法令、要綱等)		—				
事業開始の背景、経緯等		小学校の運動場、小中学校の体育館を学校が使用しない時に一般市民に開放して、市民にスポーツを行う場を提供する。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 小学校の運動場、小中学校の体育館を開放し、市民にスポーツを行う場を提供し、学校のスポーツ施設の有効利用を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学者を含む)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が参加できるスポーツ種目の増加を図り、市民の健康意識の向上や家庭、地域の交流を推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 社会体育事業	現状維持	④ 学校プール開放事業	現状維持		
	② マラソン大会事業	現状維持	⑤ 愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業	現状維持			
	③ 文化スポーツクラブ事業	現状維持	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		事業費(A)	千円	予算 決算			11,802 11,121	14,574 12,714
	人件費(B)	千円	決算			3,436	3,430	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算			14,557	16,144	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A	スポーツ教室の申込率	%	目標	—	100.0	100.0	100.0
実績				—	82.2	83.8	81.2	
B	マラソン大会の参加者数	人	目標	—	1,470	1,540	1,500	1,500
			実績	—	1,153	1,189	1,392	
C	学校プール開放参加者数	人	目標	—	2,350	2,300	3,500	2,565
			実績	—	1,557	1,424	2,443	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A スポーツ教室の申込率100%を目指す。								
B マラソン大会の参加者数1,500人を目指す。								
C 学校プール開放事業の1校あたりの参加人数+5%を目指す。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町で独自にイベント等を実施
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) スポーツ教室の申込率100%に対して81.2%で、前年度に比べても2.6%の減少であった。 マラソン大会の参加者数1,500人を目指していたが、108人の減少であった。 学校プール開放参加者数3,500人を目指していたが、1,057人の減少であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 各事業とも目標値に対して減少しているため、各事業とも市民ニーズを的確の把握して目標値を目指す必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 杵ヶ池体育館に「各種イベントの案内」などの掲示板を設置して、PRを行い参加者の向上を目指す。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成31年度までに策定する、長久手市スポーツ推進計画との整合性を図りたい。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	地域社会体育事業								
番号	①	事務事業名	社会体育事業		款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成18年度		終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学の方に、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツ教室を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			3,162	3,489	3,135
		決算			2,887	2,825	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
申込率	%	目標	-	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績	-	82.2	83.8	81.2	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

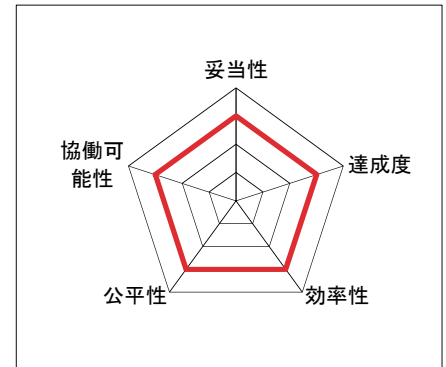
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 毎年恒例の教室ではなく、市民のニーズの把握が大切。
---

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> 杵ヶ池体育館内に「スポーツ教室」の応募状況などが確認できる掲示板を設置して、利用者に対するPRを行い参加率の向上を目指す。
(何をどのような状態に改善したのか) 杵ヶ池体育館内に「スポーツ教室」の応募状況などが確認できる掲示板を設置した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 市内在住、在勤、在学の方に、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツに親しむ機会を提供し、健康と体力の維持増進に貢献できた。
---

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 教室参加者のニーズの把握ができていない。
--

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 教室毎にアンケート等を実施し、教室参加者の求める教室を把握し変化を付けたい。
--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	地域社会体育事業								
番号	②	事務事業名	マラソン大会事業		款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度				-		終了（予定）年度	-						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 走ることが好きな人を対象に愛・地球博記念公園を使用して新春ふれあいマラソン大会を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			777	931	788
		決算			747	789	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加者数	人	目標	-	1,470	1,540	1,500	1,500
		実績	-	1,153	1,189	1,392	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

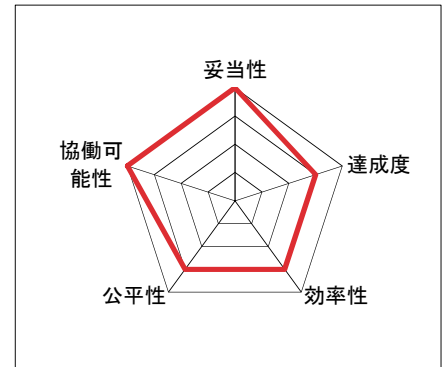
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)  平成27年度までは会場の関係でコースが変わったが、今後は、現在のコースを継続して使用することとした。
--

## 5. 前年度からの改善状況

<p>&lt;参考：前年度の事務事業評価のコメント&gt; 今後の方向性としては継続としますが、以下の3つにも取り組む。</p> <p>1 杣ヶ池体育館内に掲示板などを新たに設置して案内する。 2 新しく始まる、健康マイレージ事業と連携しチラシ等早めに案内する。 3 コースや賞品などを導入する。</p> <p>(何をどのような状態に改善したのか)  上記の3つに加え、申込の種類にQRコードを導入し申込みが行いやすくなった。</p>
---

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  平成28年度から市民の方が行っている太鼓などを取り入れ、手作り感があり、参加者に気軽に参加していただけるマラソン大会
---

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  魅力あるイベントを増やしたい。
---

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  昨年のコスプレ賞の導入に加え、参加者が楽しめる企画を導入する。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	地域社会体育事業								
番号	③	事務事業名	文化スポーツクラブ事業		款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成14年度		終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	学校週5日制を契機に、児童生徒の学校部活動を地域や行政と共に支援するもの（外部指導者、指導手当の予算化、大会の開催等）
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	土日祝日を児童生徒が有意義に過ごせるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			5,405	5,497	5,330
		決算			5,402	4,727	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
指導者数	人	目標	-	85	85	107	96
		実績	-	85	107	96	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

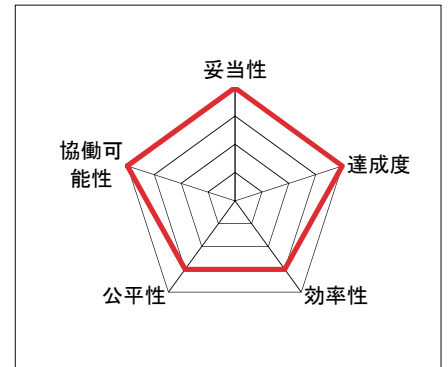
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
部活動顧問の負担増に伴う、今後の部活動のあり方を地域も交えて検討する必要がある。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
当初は総合型地域スポーツクラブ設立の体制が整うまでの間の事業として進めてきた経過があるので、これらの整理を進めていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
まだ、総合型地域スポーツクラブとの整理が進んでいないので、今後も同様に努力する。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
学校教職員の多忙化の軽減及び指導補助が行えた。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
新しい外部講師の確保が課題です。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
この事業で外部講師の台帳などを作り、人材確保を容易にする。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域社会体育事業									
番号	④	事務事業名	学校プール開放事業	款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	4
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成14年度	終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内外の者に8月の夏休み期間中に長久手小学校のプール及び南小学校のプールを開放する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市民の健康増進と体力づくりの場を提供するという観点から、自主的なスポーツ活動に取り組んでもらう。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			2,213	4,512	4,524
		決算			1,965	4,225	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加人数	人	目標	-	2,350	2,300	3,500	2,565
		実績	-	1,557	1,424	2,443	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

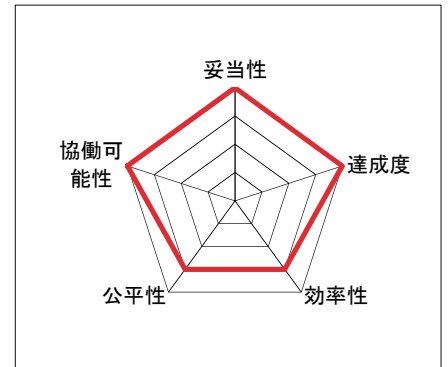
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度までは長久手小学校1校での開催だったが、平成28年度からは、長久手小学校と南小学校の2校にて開催する。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
学校施設開放事業は、本市のスポーツ振興の大きな柱であり、市民へのPRも含めて積極的に取り組んでいく。
(何をどのような状態に改善したのか)
杵ヶ池体育館内に「学校プール開放事業」の掲示板を設置した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
長久手小学校と南小学校のプール施設を使用し、スポーツに親しむ機会を提供し、健康と体力の維持増進に貢献できた。

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
2校の平均参加人数が、1,221人と毎年減少傾向にあるため、参加人数の増加を目指したい。

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
毎年減少傾向にある参加人数の増員を目指したい。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域社会体育事業									
番号	⑤	事務事業名	愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業	款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	5
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成18年度		終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内在住、在勤、在学、小・中・高生は保護者が在住の方等の条件の下、県内54市町村の代表者が、モリコロパークを利用し、駅伝にて順位を競う。市部門については、全38市である。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市町村の交流や広域で行うスポーツに親しんでもらう。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			245	145	275
		決算			120	148	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
市部門の順位向上	位	目標	—	35	32	28	28
		実績	—	33	29	33	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

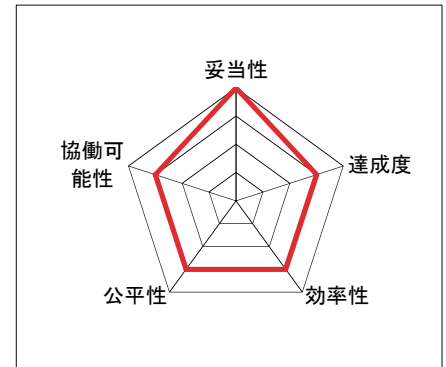
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度からは、体協の長距離走部(現陸上部)が発足し、選手の管理指導が行われている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
平成27年度から長久手市体育協会の中に長距離走部(現陸上部)ができたため、各個人の目標タイムなども設定し練習方法などが確立したことから、従来より安定した走りができている。
(何をどのような状態に改善したのか)
上記のとおり、陸上部が活動しやすいようにサポートしていく。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成17年度に開催された愛知万博を記念して、翌平成18年度から開催されている、県下一斉開催される駅伝で、年齢別の選手が選出されるため、老若男女で楽しめる大会。

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
市の人口は、5万人を超えていますが、対抗する市は、人口も多く選手層の薄さが課題。

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
選手層を厚くすることと、安全な確立された練習場所を確保したい。